

「産総研つくばセンター一般公開」

7月20日（土）～21日（日）に、毎年恒例のイベント「産総研 つくばセンター一般公開」が開催され、夏休みの初日、しかも、涼しい天気だったこともあり、親子連れを中心に、多くの来場者でにぎわいました。



当センターでは、小中学生向けを想定し、楽しみながら技術に触れてもらうことを目的としたチャレンジコーナーに、「光を使った型どり技術」と「自分の脈波を見てみよう」を、大人向けを想定し、産総研の研究成果や最新の技術を研究者自らが紹介するサイエンスコーナーに、「流体をあやつるマイクロ技術」を、それぞれ出展しました。

● 「光を使った型どり技術」

紫外線を当てると、すばやく固まる樹脂に、コインに刻まれた絵柄や文字を、型どりしてもらいます。①型どりするコインを選んで、②コインの上に、液体状の光硬化樹脂をたらして、透明のフィルムで押さえ、③ブラックライトを、ピカッと3秒間当てると出来上がりです。そして、④型どりした樹脂のようすを、顕微鏡で確認します。できあがった型は、お土産に。



朝から行列が絶えない混雑ぶりです



選ぶコインによって、できる型が変わります



コインの上に樹脂をたらして、透明のフィルムで押さえ、ライトを当てて出来上がり



ちゃんとできているかな。顕微鏡で確認します

●「自分の脈波を見てみよう」

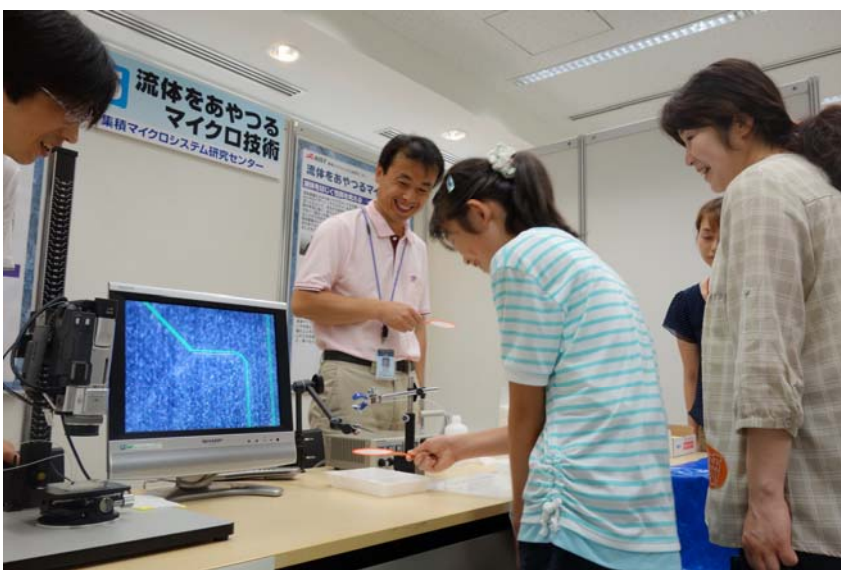
心臓から送り出された血液は、からだの隅々まで、栄養や酸素を運んでくれるものです。指先の血液の流れを測って、その様子を知っていただくものです。その時々体の状態によって、血液の流れを示す波の形が変わります。ご自身の波のデータを持ちかえっていただきました。



機器に指を添えるだけで測れます

●「流体をあやつるマイクロ技術」

微細な加工技術は、液体の流れの制御にも使われています。微細な加工技術で流路を作ったチップの中で、液体を混合する様子を観察していただきます。また、金魚すくいに使われる、持ち柄の付いたプラスチックの輪に張られた膜に、微細な加工技術でつけた凹凸によって、撥水の効果が生じることを体感する実験をしていただきます。



撥水の効果を体感